学校番号	２１２

平成 31 年度　国語科

教科	国語	科目	現代文Ｂ	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	「高等学校現代文Ｂ」　（第一学習社）						
副教材等	論理的に考える　LT 現代文３（浜島書店） 大学入試　頻出漢字 2500（文英堂） 新版三訂カラー版　新国語便覧（第一学習社） 新日本文学史（京都書房）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・予習として必ず本文を読み、語彙ノートを丁寧に仕上げて期日までに提出しましょう。
・漢字テストは毎回満点を取るつもりで臨み、やり直しは必ずしましょう。
・本文の内容を自分自身の問題や、現代社会の問題に引き付けて考えてみましょう。
・難解な評論文にも取り組み、思考・判断・表現の力を鍛えましょう。

2　学習の到達目標

・やや難解な文章を読んで、構成、展開、要旨などを的確にとらえることができる。
・やや難解な文章を読んで、書き手の意図や、人物、情景、心情の描写などを的確にとらえ、表現を味わうことができる。
・文章の内容と現在の自分との間に繋がりを見出すことにより、ものの見方、感じ方、考え方を深めることがきる。
・語彙を豊かにするとともに、文体や修辞などについての知識を身につけ、文字、活字文化に対する理解を深める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて効果的に話したり的確に聞き取ったりして、自分の考えを深め、発展させている。	必要な情報を用い、相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。	近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	言語文化及び言葉の特徴やきまりなどについての理解を深め、知識を身につけている。
評価方法	・行動の観察 ・記述の点検（ノート、問題集）	・行動の観察（グループでの話し合い、発表など）	・記述の確認及び分析（ノート、問題集、原稿用紙）	・行動の観察 ・記述の確認及び分析（ノート、問題集、定期考査）	・行動の観察 ・記述の確認（ノート、問題集） ・定期考査 ・小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
一学期前半	評論	「写真の持つ力」 長倉洋海 「いのちのかたち」 西谷修	○			◎	○	a: 文章の組み立てや骨組を的確に捉えようとしている。 d:文章の組み立てや骨組を的確に捉えている。 e:読むことに必要な文の組立てについて理解している。	a:行動の観察 d:記述の確認、定期考査 e:記述の確認、定期考査
一学期後半	評論	「連帯という言葉の意味」 内山節 「未来世代への責任」 岩井克人	○			◎	○	a: 語句や表現に注意して文脈を捉え、書き手の考えなどを間違いなく、過不足なく読みとろうとしている。 d:語句や表現に注意して文脈を捉え、書き手の考えなどを間違いなく過不足なく読みとっている。 e:正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	a:行動の観察 d:記述の確認、定期考査 c:記述の確認及び分析 e:記述の確認、小テスト
二学期前半	評論	「身体の個別性」 浜田寿美男 「目に見える制度と見えない制度」 中村雄二郎	○			◎	○	a: 文章の組み立てや骨組を的確に捉えようとしている。 d:文章の組み立てや骨組を的確に捉えている。 e:読むことに必要な文の組立てについて理解している。	a:行動の観察 d:記述の確認、定期考査 e:記述の確認、定期考査

二学期後半	小説	「舞姫」 森鷗外	○	◎		○	○	a: 司会者や提案者などを立てて、話し合いを円滑に行おうとしている。 b:司会者や提案者などを立てて、話し合いを円滑に行っている。 d:明治の日本の中での主人公の生き方、心情の揺れなどを的確に読み取っている。 e:明治時代の文化的背景や近代以降の文学の変遷について理解している。	a:行動の観察 b:行動の観察 d:記述の確認、定期考査 e:記述の確認、定期考査
三学期	評論	「であることとすること」 丸山真男	○	○	◎		○	a: :自らの思考の過程を整理し、論を統括する位置などを工夫して書こうとしている。 b:相手の話の内容についての評価を通して得た、優れた洞察や思考などを、自分自身の人間に対する思いや考えを見直したり、深めたり、広げたりする契機としている。 c:自らの思考の過程を整理し、論を統括する位置等を工夫して書いている。 e:読むことに必要な文の組立てについて理解している。	a,b:行動の観察 c:記述の確認及び分析 e:記述の確認、定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:話す・聞く能力
c:書く能力　　d:読む能力　　e:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。